

# 日本財団パラリンピックサポートセンター・ 早稲田大学オリンピック・パラリンピック事業推進室共催 シンポジウム ～オリンピックとパラリンピックの連携～

オリンピックとパラリンピック間の連携がどのような経緯で進んできたのか、その歴史を振り返り、現状を考察し、今後の課題を明らかにすべく討議します。

- 日時：2017年3月5日(日) 13:00～16:30(受付開始12:30)
- 会場：早稲田大学 小野記念講堂(早稲田キャンパス27号館地下2階)  
東京メトロ東西線早稲田駅3Aまたは3B出口から徒歩5分
- 言語：英語、日本語、日本語手話(日英同時通訳・手話通訳付き)
- 参加費：無料

## <プログラム>

- 13:05 基調講演  
「パラリンピックの意義」 下村 博文(衆議院議員)
- 13:35 第1セッション  
「IOCとIPCの歴史的関係と、パラリンピック大会とパラリンピックムーブメントにもたらされるその影響」  
イアン・ブリテン(コベントリー大学(英国)リサーチフェロー)  
「将来に向けたオリンピズムとパラリンピズムの関係」  
デイビッド・レグ(マウント・ロイヤル大学(カナダ)教授)  
「アジアにおける実情-1988年、2018年、2020年、2022年のパラリンピック大会の省察」  
ジャスティン・ジョン(延世大学校(韓国)教授)  
「2020年東京大会におけるオリンピックとパラリンピックの連携」  
藤田 紀昭(日本福祉大学教授)
- 15:10 第2セッション 総合討論  
コーディネーター 間野 義之(早稲田大学教授)  
パネリスト 全スピーカー  
舟橋 弘晃(早稲田大学助手)  
小倉 和夫(日本財団パラリンピックサポートセンター理事長)  
マクドナルド山本 恵理(日本財団パラリンピックサポートセンター  
推進戦略部プロジェクトリーダー)
- スピーカーは都合により予告なく変更となる場合がございます。

**メール件名：3月5日シンポジウム参加申込み**  
**参加申込みアドレス：research@parasapo.tokyo**

## 主催



## 共催

早稲田大学オリンピック・  
パラリンピック事業推進室

## 後援

東京都  
株式会社 WOWOW

## 協力

公益財団法人東京オリンピック・  
パラリンピック競技大会組織委員会

## 参加申込み

メールの件名を「3月5日シンポジウム参加申込み」とし、(1) お名前 (2) フリガナ (3) ご所属・役職 (4) 電話番号を明記して research@parasapo.tokyo 宛にメールにて 2月28日(火) までにお申し込みください。返信を持って受付とします。定員になり次第、締め切らせていただきますことをご了承ください。入退場時の移動および情報保障のサポートをご希望の方は、お申込みの際にお申し出ください。

## 連絡先

日本財団パラリンピックサポートセンター パラリンピック研究会  
担当(中島・矢島・池田)  
〒107-0052  
東京都港区赤坂1-3-5  
赤坂アビタシオンビル4階  
Tel: 03-5545-5991  
(平日9:00-17:00)

## 登壇者プロフィール（登壇順）



### 下村 博文（Hakubun SHIMOMURA）

早稲田大学教育学部卒業。平成元年から2期東京都議会議員を務め、平成8年から衆議院議員で、現在7期目。平成24年12月～平成27年10月まで文部科学大臣。平成25年9月～平成27年6月まで東京オリンピック・パラリンピック担当大臣を兼務。



### イアン・ブリテン（Ian BRITTAIN）

英国コベントリー大学ソーシャル・ビジネスセンター、リサーチフェロー。研究分野は、障害とパラリンピックスポーツの視点から見る社会学的歴史学的スポーツマネージメント。国際ストーク・マンデビル車椅子スポーツ連盟執行委員会メンバーを務め、現在、国際車いす切断者競技連盟アドバイザー。



### デイビッド・レグ（David LEGG）

カナダ、マウント・ロイヤル大学スポーツマネージメント、アダプテッド・スポーツ学科教授。カナダパラリンピック委員会前委員長であり、現在、国際パラリンピック委員会（IPC）スポーツ科学委員会メンバー。共同著書に、『Paralympic Legacies』がある。



### ジャスティン・ジョン（Justin Y JEON）

韓国延世大学校スポーツ・レジャー学科、同大がん予防センター、延世がんセンター教授。カナダ、アルバータ大学にて、体育・レクリエーション学部修士・博士課程修了。アジアパラリンピック委員会の理事を務め、現在は、ファン・ヨンデ功績賞の事務総長を務めると共に、韓国パラリンピック委員会のメンバーとして複数の活動に携わっている。



### 藤田 紀昭（Motoaki FUJITA）

日本福祉大学全学教育センター教授。筑波大学大学院体育研究科修了。徳島文理大学専任講師、同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ健康学科教授などを経て、現職。研究分野は、体育学、障害者スポーツ論。内閣府障害者政策委員会専門委員を務め、現在、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会技術委員会副委員長。



### 間野 義之（Yoshiyuki MANO）

早稲田大学スポーツ科学学術院教授。東京大学大学院教育学研究科修士課程修了。株式会社三菱総合研究所勤務後、早稲田大学人間科学部助教授を経て現職。専門はスポーツ政策。東京都スポーツ振興審議会委員、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会参与などの要職を務める。



### 舟橋 弘晃（Hiroaki FUNAHASHI）

早稲田大学スポーツ科学学術院助手。2014年度早稲田大学大学院スポーツ科学研究会博士後期課程修了。（公財）笹川スポーツ財団非常勤研究員、（独）日本学術振興会特別研究員を経て、2015年度より現職。地方や中央政府のスポーツ政策が専門。



### 小倉 和夫（Kazuo OGOURA）

日本財団パラリンピックサポートセンター理事長。東京大学法学部卒。1962年外務省入省。駐ベトナム・韓国・フランス大使、独立行政法人国際交流基金理事長、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致委員会評議会事務総長歴任。



### マクドナルド山本 恵理（Eri YAMAMOTO-MACDONALD）

日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー。大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科修士課程修了。アルバータ州立大学大学院体育学部アダプテッドフィジカルアクティビティ専攻修士課程単位取得。9歳からパラスポーツに親しみ、現在はパラパワーリフターとして2020年出場を目指している。